

新とよみ生協病院での 健診室の展望



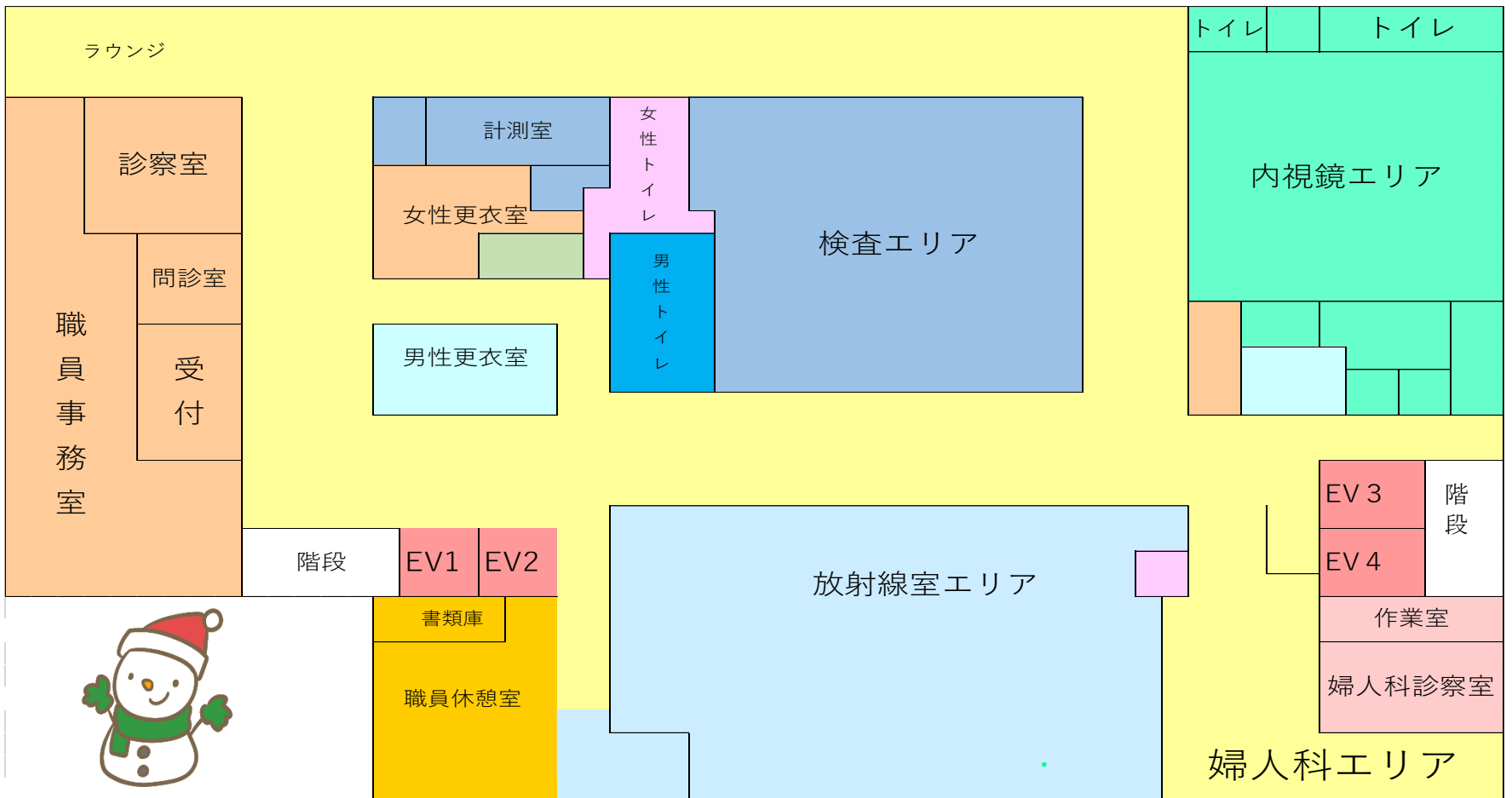
とよみ生協病院健診室
室長 高良 こずえ

皆さんは以前の健診室を覚えていますか？ 2009年沖縄協同病院が那覇市に移転する前は、体格の大きい方が通ると床が揺れ、地震かと思うような狭いプレハブで健診を行っていました。急勾配な外階段で2階に昇らなければならず足の不自由な方等にはとても不便でした。また、雨の日は本館でのレントゲン検査等で移動時に雨に濡れながら健診を受けていただくなど、今考えてもよく受診していただいていたなと思うほどです。

現在は1階のフロアに広くスペースを確保し、段差もなく、雨にも濡れずハード面で改善されましたが、サビや質の向上などソフト面での課題もでてきました。

新とよみ生協病院健診室は、2階フロアでハード面でもとても充実しています。理念と基本方針の下、年間2万人の受診者様を目指し、さらに「健診の質」を高めていきたいと考えています。今は駐車場などでご不便をおかけしておりますが、スタッフ一同新しい建物に劣らず、皆様の健康の一助になれるよう努めて参りますので新健診室にどうぞご期待ください。

新とよみ生協病院 健診室のある2階フロア見取図



基礎工事の足場の組み立てを行っています

2022.11.11 現在(県営側より撮影)



とよみ生協病院建替事業

新とよみ生協病院の施工を請け負っています、(株)東江建設です。

工事の進捗について報告いたします。

現在掘削と足場の作業を行っており、今後 鉄筋配筋、型枠、コンクリートの打設工事と進んでいきます。

施設利用の皆様には、ご迷惑をおかけしないように努めさせていただきます。完成を楽しみにして下さい。

東江建設 現場代理人 大城 誠

